

2020年度 佐久長聖高等学校 学校関係者評価

評価・・・A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分

	評価項目	評価の観点	評価	今後の課題・問題点
1	学習指導	大学入試改革に対応した具体的な取り組みができたか。	B	大学入試問題を分析し、英語での多読や速読への対応力のほか、資料や図表の読み取り・分析などの技能・学力を高めていく指導をしていく必要がある。
		アクティブラーニング(AL)・ICT機器活用等の授業改善をしたか。	B	休校中のオンライン授業の成果はどうだったのかを分析・評価し、よりよい活用の仕方を研究し、他校の先を行く教育を推進してほしい。オンライン英会話は、テキスト通りの内容ではなく、もっと自分のことを自然に話せるような機会にしてほしい。
		中高一貫教育の特性を生かした指導や教育課程の見直しを行ったか。	C	物理的に距離がある中学と高校との職員の連携は不十分に思えるので、中高一貫の良さを出すために教科内の連携など、さらに密な関係を築いてほしい。
2	進路指導	計画的・戦略的に組織的な進路指導ができたか。	B	中学ではまず学習習慣がしっかりと定着できるよう指導してほしい。中学では高校受験に振り回されないで、6年間を見据えて落ち着いた学校生活ができればよい。
		保護者と連携した個に応じた進路指導ができたか。	B	コロナ禍で保護者同士が顔を合わせることができる機会がなかったので、来年度は工夫してほしい。また、子どもが考える将来像と保護者の考える将来像を摺り合わせることができるような機会がほしい。
		生徒の自己啓発につながるキャリア教育であったか。	B	コロナ禍でやる気を出させ目標をどのように設定させていけばよいか。ゼロから創り上げてきた人の話は大きな刺激になる。成功者の具体的な姿を見る機会を増やしてほしい。
3	生徒指導	いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	A	いじめの話は子どもからも聞いたことがなく学校を信頼しているが、今後もしじめを未然に防げるような指導とともに、情報をいち早くキャッチし適切な対応ができるようにしてほしい。
		体罰や暴言のない安心な学校づくりができたか。	B	体罰や暴言のない学校が当たり前となるよう、今後も職員の意識改革を徹底してほしい。
		校内外での安全・トラブル(SNS含む)に注意できているか。	B	ネットやSNS関連は大人に見えず、気づきにくいところがあるので今後も心配。ホームルーム等で、機に臨み変に応じて子どもたちへの啓発をしてほしい。
4	保護者連携 地域連携	ホームページ・Classiなどで積極的に学校情報の発信ができたか。	B	ホームページでの情報発信の速さや見せ方についてさらに工夫してほしい。Classiやオクレンジャー等を活用し、離れている保護者も安心できるよう情報の発信を心がけてほしい。
		保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	B	保護者や外部からの意見や要望に対して、先送りすることなく迅速で誠実な対応を心がけてほしい。学校の取り組みが見えるよう、地域との連携も進めてほしい。
		説明会・オープンスクール(OS)・学校訪問など積極的な広報活動ができたか。	B	オンラインも含めて、コロナ禍に対応した説明会のあり方を検討してほしい。地元の優秀な生徒を確保できるよう、小学校や塾への働きかけを積極的に進めてほしい。